

防災特集

「天災は、忘れたころにやってくる」

日ごろの備えが大切です

9月1日は「防災の日」です。この日は大正12年に関東大震災が起きた日であることから、『災害への備えを怠らないように』との戒めを込めて防災の日と定められました。また、この頃に台風が来ることも由来の1つでもあります。皆さんも、いつ災害が発生しても慌てないように、日ごろから防災への意識を高め、自分の防災対策を見直してみよう。

日ごろから備えられること

家族・地域ぐるみで防災対策を

災害が発生したときの家族の役割分担や避難場所の確認、連絡方法などについて話し合いを。

また、「いざ」というときに頼りになるのが、隣近所の皆さんの力です。日ごろから地域のコミュニケーションを大切にしておきましょう。

家の中を安全に

家具や電化製品、照明器具などは、地震による転倒や落下の恐れがあります。壁などに固定したり、高いところへ物を置かないなどの防止策をとり、家の中を安全にしましょう。

避難場所の確認を

最寄の避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

非常時の持出品を準備

非常時に持出品が多いと、非難しづらくなります。持出品は必要最小限の物を備えておきましょう。目安としては、男性で15kg、女性で10kgまでです。非常時に慌てることのないよう、持出品は日ごろからチェックリストなどを作って準備しておき、いつでも持出せるようにしましょう。

非難するときに持っていくもの(例)

<p><b>貴重品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■現金</li> <li>■印鑑、保険証、預金通帳など</li> <li>■身分を証明できるもの</li> </ul> <p><b>衣類・洗面道具</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■下着、くつ下</li> <li>■セーターなど</li> <li>■タオル、せっけん、歯磨き用品</li> <li>■紙おむつなど</li> </ul> <p><b>水・食料品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■飲料水・非常食</li> </ul>	<p><b>小道具</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■懐中電灯</li> <li>■携帯ラジオ</li> <li>■乾電池</li> <li>■軍手</li> <li>■ライター・マッチ</li> <li>■栓抜き・缶切り</li> <li>■ティッシュ</li> <li>■使い捨てカイロ</li> <li>■筆記用具</li> <li>■雨具</li> <li>■救急セット</li> </ul>
<p>3日分を目安に備えておくもの</p>	<p>懐中電灯、ロウソク、ビニール袋、食料、1人1日3リットルの飲料水、飲料用ポリタンク、固形燃料・簡易ガスコンロ</p>

地震に備えて

いつでもどこでも起こり得るのが地震です。地震が起きたときに慌てず、適切な行動ができるよう心がけましょう。

地震が起きたら

①まず身の安全を第一に

揺れを感じたら丈夫な机やテーブルの下に身を隠し、揺れがおさまるのを待ちましょう。

また、近くに座ぶとんなどがあれば、頭部を保護しましょう。

②すばやく火の始末を

落ち着いて、使用中の調理器具や暖房器具などの火を消して始末しましょう。

③戸を開けて脱出口を確保

戸を閉めたままだと、建物がゆがんで出入口が開かなくなることがあります。玄関などの戸を開けて出口を確保しましょう。

④火が出たら消火を

万一、火災が発生しても燃え移る前なら、慌てずに消火器やバケツで初期消火に努めましょう。

⑤外へ逃げるときは慌てずに

外へ逃げるときはガスの元栓を締め、ブレーカーを切ってから、瓦やガラスなどの落下物に注意しながら落ち着いて行動しましょう。

⑥避難するときは狭い路地やブロック塀には近づかない  
ブロック塀や門柱、自動販売機などの倒れやすいものには近づかないようにしましょう。

⑦山崩れ、がけ崩れに注意

自宅周辺の環境を十分に把握し、注意しましょう。

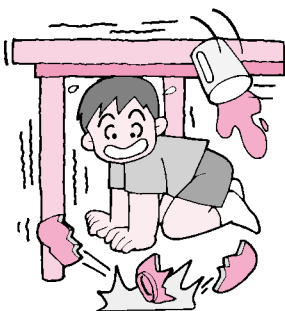
⑧正しい情報の入手を

うわさやデマに惑わされず、テレビやラジオから正しい情報を入手し、冷静に行動しましょう。  
また、町役場、消防署、警察署などからの情報にも注意しましょう。

津波に注意!!

地震が起きたとき、怖いのが津波です。一宮町は海岸に面しているため注意が必要です。

震度4以上の強い地震が起きたときや、弱い地震でも長時間にわたって揺れを感じたときは、すぐに海から離れ、安全な場所へ避難しましょう。



## 風水害に備えて

日本列島には、毎年多くの台風が接近、上陸し、強風と大雨による被害をもたらします。

台風は、あらかじめニュースなどで進路や勢力などの予測情報を入力することができません。これらの気象情報を利用して早めに対策をとりましょう。

### 台風がくる前に

- 家の各所を点検して、修理や補強をしておく。
- 窓や雨戸は補強して、しっかりと閉めておく。
- 庭やベランダにある風で飛びそうな物は固定するか家の中に取り入れる。
- テレビなどのアンテナを補強しておく。
- 側溝や排水口を清掃し、家の周りの排水をよくする。
- 浸水の恐れがあるところでは、家具や電気製品などをなるべく高い場所に置くようにする。
- 停電に備えて懐中電灯やラジオを用意しておく。乾電池の確認も忘れない。
- 非常持出品を、出しやすい場所に準備しておく。
- 最寄の避難場所、避難経路を確認しておく。また、土砂崩れなどが起こる可能性がある危険箇所も確認しておく。

### 台風がきたら

- テレビやラジオなどの台風、大雨に関する情報に注意する。
  - 外出は避けるようにする。とくに増水した河川には近づかないこと。
  - 懐中電灯や非常持出品をすぐ出せるようにしておく。
  - 断水に備えて飲料水を確保しておく。
  - 停電で冷蔵庫のものが腐る恐れがあるので、非常用の食料品の備えも十分に。
  - 病人、乳幼児、お年寄りなどは安全な場所に避難する。
  - 家族で避難場所と避難経路を再確認しておく。
  - 避難する途中にはぐれてしまった場合の連絡方法、集合場所を決めておく。
- 避難するときは**
- ひもでしめられる運動靴を脱げないように履き、持ち物は最小限にして背中に背負うなどして両手が見えるようにしておきましょう。
  - 風で危険なものが飛んでくる可能性もあります。ヘルメットや防炎ずきんなどをかぶるようにしましょう。
  - 水の下には何があるかわかりません。溝に落ちたり、マンホールや石などにつまずいたりしないように、安全を確かめながら歩きましょう。

### 防災行政無線について

町では、防災行政無線（屋外拡声器・戸別受信機）を使って防災情報などを住民の皆さまにお知らせしています。

戸別受信機は、次のことに注意して使用してください。

#### ■置き場所について

防災行政無線の放送は、町役場から電波を発信しています。

このため、戸別受信機はご自宅の役場の方角の部屋の窓際に置いていただくことをお勧めします。

#### 【注意!!】

電波を発するような家電製品等の近くには置かないでください。受信の障害になる可能性があります。

#### ■乾電池は定期的に交換を

戸別受信機には、停電時にも放送が受信できるようにアルカリの単2乾電池4本を備えてください。

これにより、停電時にも自動的に乾電池に切り替わり放送を受信します。

#### 【注意!!】

乾電池は定期的に点検し、交換して下さい。寿命の切れた乾電池をそのまま入れておくと、機械の故障につながる可能性があります。

戸別受信機のランプが点滅していたら交換のサインです。

### J・A・L・E・R・T （全国即時警報システム） が秋からスタートします

町では、緊急地震速報などの緊急情報を、瞬時に住民の皆さまにお知らせする「J・A・L・E・R・T（全国即時警報システム）」をこの秋から導入します。

このシステムは、緊急地震速報のほか、他国からの武力攻撃など緊急事態が発生したときに、国民保護に必要な情報が通信衛星を通して国から瞬時に伝達され、町防災行政無線を自動的に起動して警報を放送するものです。

#### ■J・A・L・E・R・Tによる放送はこんなときに流れます

- 津波警報・津波注意報
- 緊急地震速報
- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報

#### ■問合せ

総務課 ☎42-2112